

## ■東海村（仮称）村松地区周辺地域活性化計画策定の趣旨

東海村（仮称）村松地区周辺地域活性化計画（以下、「活性化計画」という。）は、国道 245 号の慢性的な交通渋滞、駐車場施設の減少、阿漕ヶ浦公園内の施設の老朽化、東海駅五反田線細浦地区道路用地の活用方策の検討をはじめ、商店街の衰退など、真崎地区、村松・宿地区が直面している様々な課題を踏まえ、国道 245 号の 4 車線化拡幅工事や平成 31 年開催の茨城国体のホッケー競技場使用のために要する阿漕ヶ浦公園の改修工事を契機とし、**阿漕ヶ浦公園周辺の一体的な土地利用及び、当該地域の活性化を図ることを目的に**、平成 26 年度より、ハード整備の側面から調査・研究を開始しました。

その結果、このエリア一体を「**阿漕ヶ浦周辺エリア**」、「**村松周辺エリア**」、「**細浦青畝エリア**」、「**旧保育所幼稚園用地エリア**」の 4 つのエリアに分け、ハード整備構想（素案）のパース図を作成しました。

平成 27 年度に入り、地元住民をはじめとした関係者に対し、パース図の作成意図と整備構想（素案）の説明と意見交換を実施いたしました。これらの内容をとりまとめ、現在村が実施している「神楽沢近隣公園」の整備や「真崎古墳群」及び「絆北側緑地」の維持管理の検討といった事業との関連性、さらには東海駅周辺から当該地区への人の流れの誘導といったような、他の地区との面的な結びつきを視野に入れた、より具体的な取り組み等についてまとめていきたいと考えています。

なお、4 つのエリアのうち、「阿漕ヶ浦周辺エリア」については、阿漕ヶ浦公園の国体ホッケー会場としての改修工事を速やかに進める必要があることから、本委員会の検討エリアからは除外することとします。

※平成 31 年の茨城国体において、阿漕ヶ浦公園内ホッケー場が大会会場として使用されます。村としては、大会に合うよう、ホッケー場及び付帯施設の改修工事を速やかに実施することとしております。

※国道 245 号の拡幅工事については、必要用地の確保できた区間から進んでおります。国の予算にもよりますが、村としては国体までに原子力科学研究所交差点～阿漕ヶ浦公園の区間の 4 車線化を実施するよう要望をしております。